

## VIRTUAL GRAVITY NANO (バーチャルグラビティー・ナノ) ボウリング・デイス・マンズのレビュー

2.35 (1-10)	<b>RG:</b> シェイブブロックHDコアがストームの新しいプレミアライン製品と共に戻ってきた。バーチャルそしてグラビティー・シフトに使用されたコアと同じコアだ。低RGがレーン全体を通して力強く持続力あるリアクションを提供する。
7.5 (1-10)	<b>ディファレンシャルフレア:</b> バーチャル・グラビティー・ナノのフレアポテンシャルは5インチ+。クランカーは5インチ+、トゥイーナーは約4インチ、ストローカーは3.5インチだった。
7 (1-10)	<b>トルク:</b> このウエイトブロックを使用するボールからは、ミッドレーン・リアクションが期待される。シェル素材の持つ強いトラクションが、ショートパターンでのコントロールを難しくしている。
12 (1-25)	<b>走り:</b> 4000グリットのアブラロン・フィニッシュは、オイリーなレーンコンディションでも十分なグリップ力を見せる。回転率の高いボウラーは、レーンサーフェイスからオイルがなくなってくると、ボールを持ち替えなければならないかもしれない。
17 (1-20)	<b>バックエンド:</b> ミッドレーンでの高い摩擦が、バックエンドの大きさに全く影響を与えなかったことに非常に驚いた。テストパターンのオイルがキャリアダウンしてきても、バーチャル・グラビティー・ナノは塗りたてのパターン上のように強く戻ってきた。
56 (1-100)	<b>全体的なフック:</b> バーチャル・グラビティー・ナノは、ストームがこれまで発表したいかなる製品よりもより多くの板目をカバーする。性能が既に証明されているシェイブブロックHDコアと新しいレジン配合のコンビが、ナノをフッキング・モンスターにしている。

**コメント:** バーチャル・グラビティー・ナノでシェイブブロックHDコアが復活した。ナノには新しいリアクティブ・レジン”NRG (ナノ・リアクティブ・ジエネシス)”が搭載されている。テスト中に私たちが見たこの新しい技術を使ったボールは、動力が高い非対称コアとダル仕上げのソリッド・リアクティブが生まだす、最近テストしたいかなるボールよりも大きなフックポテンシャルを持つ製品だった。ナノは私たちのヘビーパターンにパーフェクトにマッチした。その力強いミッドレーンとバックエンドは、3人のテスター全員をとて驚かせた。テストセッションを続けるにつれ、テスターはキャリアダウンがパフォーマンスに全く影響を与えていないことにも気が付いた。必要なリカバリーは全て得ることができ、ボールも難なくコンディションをこなし、ピンアクションにも全く影響を与えなかった。ミディアム・パターンでは、トゥイーナーとストローカーの両者が4000番のアブラロン(箱出し)仕上げのままでナノを使用した。両者左に移動し、レーン中央のオイルを利用しながらポケットを見つけることができた。クランカーは、その回転率の高さから、このパターンではボールをポリッシュしてレーンの少し奥に走らせなければならなかった。ドライ・テスト・パターンでは、3人のボウラー全員がボールをポリッシュした。ここで初めてナノが苦戦した。ポリッシュ仕上げでさえ、パターン上で十分な走りが得られず、ミッドレーンの摩擦が強くなりすぎてしまった。私たちのスポーツパターンには強すぎるようだ。難しいパターンで必要となるフレアを抑えたレイアウトがコントロールの手助けとなるだろう。3人の中で一番苦戦したのはトゥイーナーだった。珍しいことに、バックエンドでの大きなリカバリーは、私たちのスポーツパターン上で、トゥイーナーよりもクランカーに有効だった。

### 総括

**長所:** バーチャル・グラビティー・ナノほど板目を多くカバーするボールがあるだろうか。ナノはオイリーなパターンでさえ、まるでいつも投げているセンターのコンディションのように感じさせるだろう。

**短所:** ショートパターンでは、ナノは手前から噛んでしまう。ドライなパターンでは、高度にポリッシュする必要があるだろう。またレーンのより奥まで走るようにピンからPAPの距離を長くとったレイアウトをすすめる。

**全般:** バーチャル・グラビティー・ナノは、ストームで最も評価の高いコアの1つを、今までで最も強いリアクティブカバーで包んだ製品。このコアとカバーのコンビネーションは、信じられないほどのトラクションとフックを作り出す。